

自治体向け“ブランド推進者育成研修”  
「博報堂ブランディングスクール(HBS)」  
新たなカリキュラムで提供を開始

博報堂は、2003年春より、地域ブランドづくりを目指す自治体・団体・協議会に向けてブランド推進者を育成する研修、「博報堂ブランディングスクール(HBS)」を実施してきました。この度、三年間のスクール実施経験で培った知見と受講生のニーズを反映させて、新たなカリキュラムとして改定し、提供を開始しましたので、お知らせいたします。

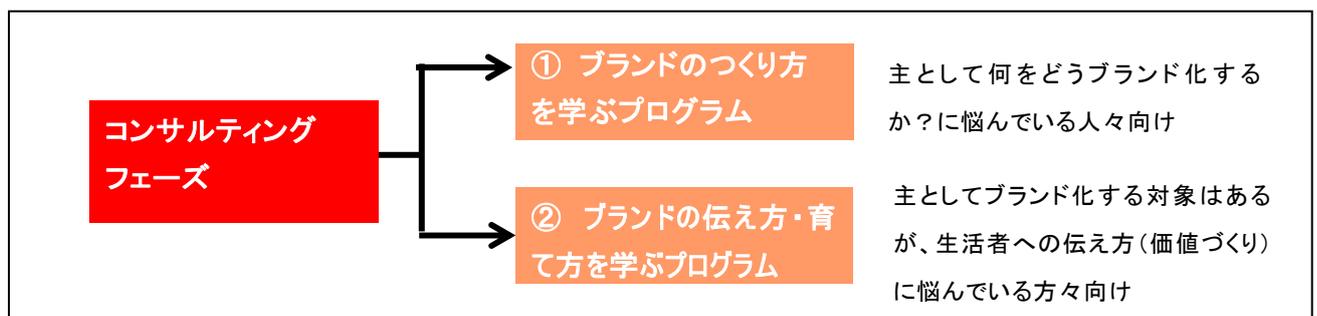
「地域ブランドづくり」といっても、実際には受講者が学びたいことのポイントは、ブランド戦略への理解度やブランドづくりへの取り組み段階などによって、様々なレベルに分かれています。そこで、これまで実施してきた「1種類の規定プログラムへの1ヶ月間の参加」型の研修スタイルを変更、受講者の課題・ニーズに合わせたコースを設定し、より参加しやすい新しいカリキュラムとしてスタートさせることと致しました。

新カリキュラムでは、まずプログラムの始めにコンサルティングを実施します。これにより、「カスタマイズされた最適なカリキュラム」を提供し、かつ受講者にとって最適レベルの知識・ノウハウの提供に絞ることが可能となりました。また、研修期間が短縮されることから「コンパクト且つ深い内容」を習得できる研修と致しました。

博報堂は、今後も「博報堂ブランディングスクール(HBS)」を通じ、地域におけるブランドづくりの推進者を積極的に育成し、その地域ならではの価値を明確に全国にアピールできる地域ブランドづくり、活力ある地域づくりに貢献していきたいと考えます。

【博報堂ブランディングスクール(HBS)新バージョンの概要】

以下の2種類のプログラムを基本に、事前の「コンサルティングフェーズ」にて適切な内容にカスタマイズして提供



期間 : ①②とも3日から4日間を基本

実施時期 : 適宜要請に応じて実施を検討

費用 :1パッケージ 100万円(税別)～  
実施場所 :応相談(基本実施地への「派遣」を想定)  
留意事項 :1団体 最少3名からの参加が実施要件

## ■ 「博報堂ブランディングスクール(HBS)」について

日本の人口は2005年にピークを迎え、いわゆる「人口減少社会」に突入しました。自治体にとっては、基礎となる住民の絶対数が減っていくというかつてない状況に直面しはじめたこととなります。また、三位一体の改革の推進で、地域の自立が叫ばれ、いよいよ地域間競争が激化する中、“人々に選んでいただく「地域」の確立＝地域ブランディング”へのニーズは益々増加しています。

博報堂の自治体・地域のブランディング活動サポートプログラム「地ブランド<sup>®</sup> PRO」は、サービス提供を開始してこの4月で3年になります。数々の業務を通じ、成功ブランドづくりのキーファクターとして、「人材」とその「育成」が課題であると考え、03年春より「博報堂ブランディングスクール(HBS)」を開校してまいりました。

博報堂ブランディングスクールは、「研修に参加する自治体職員を、その自治体(地域)ブランドづくりの中心推進者に育てる」ことを主眼として“ブランド論の基礎から具体的な戦略・実施案策定まで”を、実習を多用した実践的なカリキュラムで体感できるよう構成し、短期の集合研修としてプログラム化し、実施してきているものです。

これまで、プレ講座も含め計5回開校され、延べ5自治体、合計34名の卒業生が、全国の地方行政の現場でブランドづくりの中心推進者として御活躍されています。

この件に関するお問い合わせは

博報堂	広報室	平澤・宮川	03-5446-6161
	MD戦略推進局	木下・渡邊	03-5446-4393